事務事業実績測定調書

事務事業名称	開発審査事務									
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	審査指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法・宅地造成等規制法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内で、開発行為等を行おうとする事業者			
	サブターゲット	開発行為等の宅地を取得する市民や開発行為等を行う土地の周辺住民			
	ターゲットが抱える課題	法令等に則った適正な審査・指導を行わないと、無秩序な開発、造成行為が行われてしまう可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	開発行為、宅地造成及び位置指定道路の築造の着手に先立ち、その計画が各法令の基準に適合するものであるかを審査・指導することにより、良質な宅地水準の確保等ができている。				
事業概要	開発、造成行為等の計画が法令等に適合しているか、下記申請等に係る協議・審査・指導等を行う。 ①開発行為の許可及び変更許可申請 ②建築制限の解除の承認申請 ③宅地造成に関する工事の許可申請 ④道路位置指定工事着手及び変更申請 ⑤その他開発関係申請等				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		開発行為の許可及び変更許可を行う。	開発行為の許可及び変更許可申請を受理する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					開発行為の許可件数				開発行為の許可等申請数			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					70	70	70	70	70	70	70	70
実績					71				69			
達成度					101%				99%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル②		建築制限の解除の承認を行う。	建築制限の解除の承認申請を受理する。

指標設定②	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					建築制限解除承認件数				建築制限解除承認申請数			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					5	5	5	5	5	5	5	5
実績					1				1			
達成度					20%				20%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		宅地造成に関する工事の許可を行う。	宅地造成に関する工事の許可申請を受理する。

指標設定③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		宅地造成に関する工事許可件数	宅地造成に関する工事許可申請数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					30	30	30	30	30	30	30	30
実績					30				28			
達成度					100%				93%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		道路位置指定工事着手及び変更を承認する。	道路位置指定工事着手及び変更申請を受理する。

指標設定④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		道路位置指定工事着手及び変更申請受理件数	道路位置指定工事着手及び変更申請数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					10	10	10	10	10	10	10	10
実績					6				6			
達成度					60%				60%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		その他開発関係申請に係る許可等を行う。	その他開発関係申請等を受理する。

指標設定⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		その他開発関係許可及び受理件数	その他開発関係申請数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					90	90	90	90	90	90	90	90
実績					70				70			
達成度					78%				78%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	4.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	40,444	38,401	35,888		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	1,046		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	40,444	38,401	36,934		
	物件費計		0	0	10	10	100%
	歳出計		40,444	38,401	36,944		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		9,580	10,677	7,074	10,055	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		9,580	10,677	7,074	10,055	
一般財源			30,865	27,724	▲ 7,064	▲ 10,045	

5. 総括的分析

総括的分析	関係法令に基づき、適正に事務を実施しており、今後もこれを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して実施

事務事業実績測定調書

事務事業名称	建築審査事務									
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	審査指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1972(S47)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	建築基準法・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律・建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律・都市の低炭素化の促進に関する法律・大阪府福祉のまちづくり条例・長期優良住宅の普及の促進に関する法律				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内で、建築行為等を行おうとする事業者			
	サブターゲット	建築行為等を行った建築物を取得する市民や建築行為等を行う土地の周辺住民			
	ターゲットが抱える課題	法令等に則った適正な審査・指導を行わないと、無秩序な建築行為等が行われてしまう可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	建築物の工事着手に先立ち、その計画が建築物に係る法令等に適合するものであるかを審査・指導等することにより、建築物の安全性の確保及び良好な市街地環境の形成や、高齢者、障害者等の利便性及び安全性の向上の促進、建築物のエネルギー消費性能の向上、都市の低炭素化の促進に資すること等が実現している。				
事業概要	建築物等の計画が法令等に規定する基準に適合しているか、下記申請等について審査・指導等を行う。 ①建築基準法に基づく建築物等の確認・計画通知・許認可申請 ②大阪府福祉のまちづくり条例(福まち条例)に係る特定施設の事前協議 ③高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に係る認定申請 ④建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法)に係る届出、認定、適合判定申請 ⑤都市の低炭素化の促進に関する法律(エコまち法)に係る認定申請 ⑥長期優良住宅建築等計画の認定関係事務 ⑦その他各種届出、許可申請等				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		許認可等を行う。	建築基準法に基づく建築物等の確認・計画通知・許認可申請を受理する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		建築基準法に基づく建築物等の許認可件数	建築基準法に基づく建築物等の確認・計画通知・許認可申請数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)					80	80	80	80	80	80	80	80
実績					90				90			
達成度					113%				113%			

分析			
		想定通りであった。	想定通りであった。

ロジックモデル②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		協議に対して指導等を行う。	大阪府福祉のまちづくり条例(福まち条例)に係る都市施設の事前協議を受ける。

指標設定②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		都市施設設置工事事前協議件数	都市施設設置工事事前協議申請数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)					10	10	10	10	10	10	10	10
実績					8				8			
達成度					80%				80%			

分析			
		想定通りであった。	想定通りであった。

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		認定を行う。	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に係る認定申請を受理する。

指標設定③	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					バリアフリー法に係る認定件数				バリアフリー法に係る認定申請数			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					1	1	1	1	1	1	1	1
実績					0				0			
達成度					0%				0%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		認定等を行う。	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）に係る届出、認定、適合判定申請を受理する。

指標設定④	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					建築物省エネ法に係る届出・認定、適合判定件数				建築物省エネ法に係る届出、認定、適合判定申請数			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					70	70	70	70	70	70	70	70
実績					79				79			
達成度					113%				113%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		認定等を行う。	都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）に係る認定申請を受理する。

指標設定⑤	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					エコまち法に係る認定認定件数				エコまち法に係る認定申請数			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					15	15	15	15	15	15	15	15
実績					32				32			
達成度					213%				213%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル⑥	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		許可等を行う。	その他各種届出、許可申請等を受理する。

指標設定⑥		アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明						その他各種届出、許可件数				その他各種届出、許可申請等申請数			
				単位				単位	件			単位	件
指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込み）					40	40	40	40	40	40	40	40
	実績					507				507			
達成度						1268%				1268%			
分析						想定通りであった。（長期優良住宅の認定等含む）				想定通りであった。（長期優良住宅の認定等含む）			

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	4.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.46
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	46,010	42,891	31,900		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	899		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	46,010	42,891	32,799		
	物件費計		0	46	353	1,508	23%
	歳出計		46,010	42,937	33,152		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	68	72	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	7,285	6,087	6,204	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	7,285	6,155	6,276	
一般財源			46,010	35,652	▲ 5,802	▲ 4,768	

5. 総括的分析

総括的分析	関係法令に基づき、適正に事務を実施しており、今後もこれを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して実施

事務事業実績測定調書

事務事業名称	開発指導事業									
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	審査指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づく許可に係る工事を行う業者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令等に則った適正な審査・指導を行わないと、無秩序な開発行為等が行われてしまう可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	開発等の事業が法令に基づき適切に施工され、良好な都市環境が形成されている。				
事業概要	・枚方市開発事業等の手続等に関する条例第27条による中間・完了検査（中間・完了検査届出書受付、検査合格証の発行を含む）を行う。 ・都市計画法第36条による開発検査（完了届出書受付、検査済証発行、完了公告手続を含む）を行う。 ・宅地造成等規制法第13条による宅地造成工事検査（完了検査申請書受付、検査済証発行を含む）を行う。 ・道路位置指定（廃止）申請受付、検査及び道路の指定（廃止）を行う。 ・都市計画法、宅地造成規制法等の違反を是正させるために行政処分や指導を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		検査合格証の発行等を行う。	枚方市開発事業等の手続等に関する条例第27条による中間・完了検査届出書の受付等を行う。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		検査合格証の発行数	枚方市開発事業等の手続等に関する条例第27条による中間・完了検査届出書の受付数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					300	300	300	300	300	300	300	300
実績					387				387			
達成度					129%				129%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		検査済証を発行し、完了公告手続を行う。	都市計画法第36条による完了届出書の受付を行う。

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		検査済証の発行件数	都市計画法第36条による完了届出書の受付件数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					50	50	50	50	50	50	50	50
実績					59				59			
達成度					118%				118%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		検査済証の発行等を行う。	宅地造成等規制法第13条による完了検査申請書等を受け付ける。

指標設定③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		検査済証の発行件数	宅地造成等規制法第13条による完了検査申請件数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					15	15	15	15	15	15	15	15
実績					18				18			

達成度		120%	120%
分析		想定通りであった。	想定通りであった。

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
		検査を実施して道路の指定（廃止）を行う。	道路位置指定（廃止）申請を受け付ける。

指標設定④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		道路の指定（廃止）件数	道路位置指定（廃止）申請件数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					5	5	5	5	5	5	5	5
実績					5				5			

達成度		100%	100%
分析		想定通りであった。	想定通りであった。

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	2.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,845	18,929	15,909		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	1,968	1,847	1,502		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	17,813	20,776	17,411		
	物件費計		54	59	0	0	―
	歳出計		17,867	20,835	17,411		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	27	26	27	
	受益者負担（使用料・手数料）		539	462	308	736	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		539	489	334	763	
一般財源			17,328	20,346	▲ 334	▲ 763	

5. 総括的分析

総括的分析	関係法令に基づき、適正に事務を実施しており、今後もこれを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して実施

事務事業実績測定調書

事務事業名称	建築指導事業									
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	審査指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1972(S47)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	建築基準法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	建築基準法及び関係規定に基づく申請を経て建築物等の工事を行う事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令等に則った適正な審査・指導を行わないと、無秩序な建築行為等が行われてしまう可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	建築物等が法令に基づき適切に施工され、良好な都市環境が形成されている。				
事業概要	・建築物の工事中及び完了後において、建築基準関係規定に適合していることを検査し、検査済証等の交付を行う。 ・建築基準法等の違反を是正させるために行政指導や処分を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		検査済証等を交付する。	建築物の工事中及び完了後において、建築基準関係規定に適合していることを検査する検査申請を受け付ける。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					検査済証、合格証交付件数				建築基準法に基づく完了検査申請、中間検査申請、工事完了通知、中間検査通知件数			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					40	40	40	40	40	40	40	40
実績					87				85			
達成度					218%				213%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	1.95
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	17,208	14,254	14,933		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	1,586	1,710	1,502		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	18,794	15,964	16,435		
	物件費計		34	55	0	0	―
	歳出計		18,828	16,019	16,435		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		2,432	2,578	1,812	2,053	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		2,432	2,578	1,812	2,053	
一般財源			16,396	13,441	▲ 1,812	▲ 2,053	

5. 総括的分析

総括的分析	関係法令に基づき、適正に事務を実施しており、今後もこれを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して実施

事務事業実績測定調書

事務事業名称	防災指導事業									
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	審査指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1972(S47)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	建築基準法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・不特定多数が利用する建築物等を所有・管理する者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	・建築物等の適正な維持管理の重要性を十分に理解していない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	・法定点検の適切な実施により建築物等の安全性が確保され、建築物等の利用者等の生命、健康及び財産の保護が図られている。 ・建築物の設備の事故再発や類似事故防止のための情報が活かされ、安全性が確保されている。				
事業概要	・特定建築物等の定期調査及び建築設備の定期検査結果の報告（定期報告）の受付を行う。 ・定期報告の内容等に基づき、建築物の適正管理の指導を実施する。 ・大阪府建築物に附属する特定の設備等の安全確保に関する条例に係る事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		対象建築物の所有者等から、特定建築物等の定期調査・点検結果の報告を受理する	対象建築物の所有者等に対し、特定建築物等の定期調査・点検結果の報告を促す

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		定期報告受理件数	特定建築物への定期報告案内件数
単位		件	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
実績					2,784				2,944			
達成度					103%				109%			

分析	想定通りであった。	想定通りであった。

ロジックモデル②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル②		大阪府建築物に附属する特定の設備等の安全確保に関する条例に規定する届出を受理する（第2報：事故原因・再発防止対策）	大阪府建築物に附属する特定の設備等の安全確保に関する条例に規定する届出を受理する(第1報：発生報告)

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		受理件数（第2報）	受理件数（第1報）
単位		件	件
指標種類		減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					8	8	8	8	8	8	8	8
実績					11				11			
達成度					63%				63%			

分析	想定通りであった。	想定通りであった。

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	1.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,010	8,418	9,969		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	489	189	1,045		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	11,499	8,607	11,014		
	物件費計		4,104	836	852	883	96%
	歳出計		15,603	9,443	11,866		
歳入	国庫支出金		682	0	0	0	
	府支出金		100	61	126	100	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		782	61	126	100	
一般財源			14,821	9,382	726	783	

5. 総括的分析

総括的分析	関係法令に基づき、適正に事務を実施しており、今後もこれを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して実施

事務事業実績測定調書

事務事業名称	審査指導課運営事務									
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	審査指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	審査指導課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	課の運営が円滑に行われている				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル			

指標設定		アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明				単位				単位				単位	
指標種類													
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込み）												
	実績												
達成度													
分析													

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	2.83
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	－	－	21,951		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	－	－	1,179		
		特別職非常勤	－	－	0		
		附属機関委員	－	－	0		
		人件費計	－	－	23,130		
	物件費計		－	－	0	0	－
	歳出計		－	－	23,130		
歳入	国庫支出金		－	－	0	0	
	府支出金		－	－	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		－	－	0	0	
	市債		－	－	0	0	
	その他		－	－	0	0	
	歳入計		－	－	0	0	
一般財源			－	－	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務を実施しており、今後もこれを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して実施